



平成 18 年 11 月 1 日

各 位

|         |                                              |
|---------|----------------------------------------------|
| 会 社 名   | 楽 天 株 式 会 社                                  |
| 代 表 者 名 | 代表取締役会長兼社長<br>三 木 谷 浩 史<br>(JASDAQ コード 4755) |
| 問 合 せ 先 | 取締役常務執行役員<br>高 山 健<br>03 - 4523 - 8001       |

## さらなる成長のための新しい組織体制の導入について

楽天株式会社（本社：東京都港区 代表取締役会長兼社長：三木谷 浩史）は、平成 18 年 11 月 1 日より、下記の通り、さらなる成長へ向けて新しい組織体制を導入することといたしました。また、これに伴い、執行役員を含む人事異動を行いますので、併せてお知らせいたします。

記

### 1. さらなる成長のための新しい組織体制

楽天グループでは、さらなる成長へ向け、以下のような内容を目的として GMP（Growth Management Program：グロースマネージメントプログラム）を導入し、新たな成長戦略に取り組んでまいります。

- ① グループ全体像の把握によるグループ成長戦略の立案
- ② インキュベーション（新規）事業の育成および戦略的な分野への重点投資の積極化
- ③ めまぐるしく変化するインターネットビジネスに機動的でフレキシブルに対応できる仕組みの構築
- ④ グループ全体のベストプラクティスの共有による生産性の向上、コストの削減
- ⑤ 持続的な成長へ向けた人材育成の強化と人事制度の改良

上記の成長戦略の一貫として、以下の組織体制を導入することといたしました。

#### （1）ビジネスユニット制の導入

経営管理区分として、従来のカンパニー制を廃止し、事業単位のビジネスユニット（以下 BU）制を導入いたします。従来の 6 カンパニーから 38BU に変更することで、よりフラットな組織とします。

従来までは、カンパニー制による大きな区分での管理を行い、各事業の成長を図ってまいりました。今般、楽天グループの事業分野が拡大し、各事業が成長していく中で、各 BU の更なる成長を推進するために BU 単体ごとの収益性、成長性の管理を徹底すべく、BU 制の導入を行うことといたしました。

今回の新しい組織体制の導入により、成長の新たなステージにおける強固な足場を構築するとともに、各 BU 相互のシナジーをより一層追求し、さらなる成長に向けた戦略的な投資も行っています。

この各 BU 制では、事業規模と収益性を軸とした事業マトリクスにおいて、成長ポテンシャルおよび戦略的重要性という観点からビジネスポテンシャルの発掘を行うとともに、KPI（Key Performance Indicator：キーパフォーマンスインジケター）および予算の策定・管理体制の精緻化を行うことで戦略的な経営管理を行います。これにより、BU 一つひとつの位置付けと方向性および収益性を明確にし、成長のスピードを加速させることを狙いとしています。

また、既存事業とインキュベーション（新規）事業および各 BU の位置付けを明確化してコスト管理を強化し、グロースキャピタルをしっかりと把握することにより、新規ビジネスおよび戦略的な分野への重点投資を積極的に行っています。

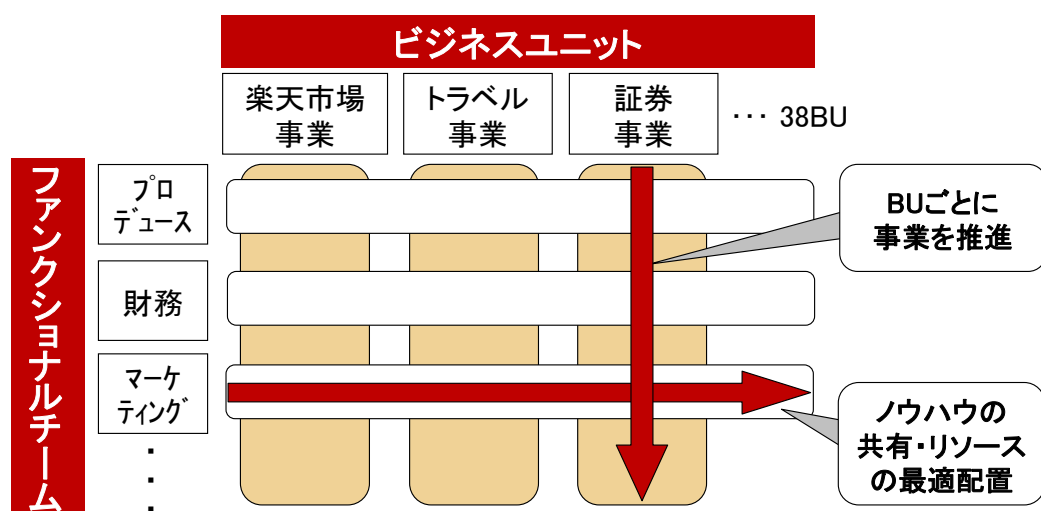
## （２）ファンクショナルチームとチーフオフィサー制度の導入

一方、財務、マーケティング、プロデュース（開発および編成機能）やバックオフィス業務といった各 BU 共通の重要な機能については、ファンクショナルチームを設置し、チーフオフィサーを選任いたします。全 BU に横串を通すことで、社内ベストプラクティスの共有化と人的リソースの機動的でフレキシブルな最適配分によって、業務の効率化と生産性の向上を行ってまいります。また、BU とファンクショナルチームの『縦』と『横』、さらには『斜め』の人事異動を可能にすることで、個々の社員の特性に合わせたキャリア形成を促進し、モチベーションの向上を図ります。

さらに、上記の施策に合わせて、人材育成の強化に注力してまいります。楽天グループの持続的な成長基盤を構築するために社内教育の充実による長期的な人材育成を行い、社員一人ひとりの能力の向上を図ります。

## （３）概念図

以下は、前述の（１）、（２）を概念図としてまとめたものです。



## 2. 人事異動（11月1日付）

### （１）事業長（ビジネスユニットの責任者） 執行役員以上のみ記載

| 氏 名    | 新役職名           |
|--------|----------------|
| 三木谷 浩史 | 楽天市場事業長        |
| 平尾 勇司  | オークション事業長      |
| 楠 雄治   | 証券事業長          |
| 穂坂 雅之  | パーソナルファイナンス事業長 |
| 関 榮一   | KC 事業長         |
| 山田 善久  | トラベル事業長        |
| 濱野 斗百礼 | インフォシーク事業長     |
| 小林 司   | 広告事業長          |
| 小林 司   | ターゲット事業長       |
| 森 学    | リサーチ事業長        |
| 利重 孝夫  | 動画コンテンツ事業長     |
| 菊地 雅浩  | CS 放送事業長       |
| 菊地 雅浩  | インターネットテレビ事業長  |
| 島田 亨   | プロスポーツ事業長      |

### （２）チーフオフィサー

| 氏 名    | 新役職名                                                        | 旧役職名                 |
|--------|-------------------------------------------------------------|----------------------|
| 三木谷 浩史 | CEO（チーフエグゼクティブオフィサー）<br>兼 CP0（チーフプロデュースオフィサー）<br>代表取締役会長兼社長 | 代表取締役会長兼社長<br>最高執行役員 |
| 高山 健   | CFO（チーフファイナンシャルオフィサー）<br>取締役常務執行役員                          | 取締役常務執行役員            |
| 武田 和徳  | COO（チーフオペレーティングオフィサー）<br>常務執行役員                             | 常務執行役員               |

＊ なお、COO はオペレーションファンクショナルチームの長として、いわゆる本社機能のうち財務機能を除いた機能を担当します。

また、以下の現任の役職については、引き続きその任を努めます。

- ・ 代表取締役副社長執行役員 國重 惇史
- ・ CIS0(チーフインフォメーションセキュリティオフィサー)  
取締役常務執行役員 山田 善久
- ・ CMO（チーフマーケティングオフィサー）  
取締役常務執行役員 島田 亨

(3) その他

| 氏 名   | 新役職名                          | 旧役職名                 |
|-------|-------------------------------|----------------------|
| 筱崎 隆広 | 執行役員 組織運営本部長<br>兼セキュリティ本部副本部長 | 執行役員<br>セキュリティ本部副本部長 |

以 上